

関西北陸ブロック 共済推進委員会#7

概要

日時：10月20日 18～21時
 場所：ZOOM

参加者

- 滋県大 (1)、和歌山 (2)、
- 龍谷 (2)、同志社 (1)、
- 奈良女 (1)、奈教 (1)、
- 富山大 (1)、電通大 (1)
- オブザーバー (2)



01 給付事例学習会

大学生生活に潜むリスクを理解し、「たすけあいの輪」を感じる

今回のブロック共済推進委員会では、給付事例学習会を行いました。たすけあいアンケートに寄せられた受給者の声に触れることを通して、大学生生活に潜むリスクについての理解を深め、大学生協の共済が作っている「たすけあいの輪」を感じることができました。給付を受けた人の生活背景にはどういったことがあったか、その人はどんな気持ちだったか、もし自分に起きたらどう思うかという視点から、各大学で給付事例学習会を実施するためにはどんなことができるか、どういった課題があるかを考えました。

班内交流

Google Jamboardを用いて班内交流をしました。自大学の給付事例から見えてきたこと、ほかの大学の給付事例から見えてきたことを交流することで、各大学で給付事例学習会をしたらどういった学習会にしたいか、どういった視点を大切にしたいかを考えることができました。

共済という視点だけでなく、新学期や無料相談テレフォンなどと絡めて考えることでより多くの人に「たすけあいの輪」を感じてもらえるといった意見も出ていました。

オンライン 給付事例学習会



給付事例学習会で考えたいこと

以下のポイントを意識して考えてみましょう。

- ・ 給付を受けた人の生活背景はどうか。
- ・ どんなことに困ったのか。
- ・ 給付を受けた人(共済のたすけを受けた人)はどんな気持ちになったのか。
- ・ ケガや病気になってしまった人にとって、共済はどのようによかったのか。
- ・ 自分に起こったらどうするか。
- ・ 未然に防ぐために何ができるのか。

02 活動報告

各大学でどういった動きがあったのか

今回の参加者のほとんどが3、4年生ということもあり、推進委員のほうからこの間こういった活動をしました！という報告はありませんでした。その代わりに、学生事務局が担当会員の取り組みを報告したり、3、4年生が自分たちのやってきたことを振り返ることで、今後の取り組みを考えるきっかけになりました。

